

第6回アンチキルケばか詰作品展

解説編

開 催： 平成18年 3月 1日

解答締切： 平成18年 3月25日

解答発表： 平成18年 4月 1日

たくぼんの解図日記

<http://takubon-tumeshougi.269g.net/>

アンチキルケばか詰入門

<http://www2.dokidoki.ne.jp/takuji/tumeshougi/AntiCirce.html>

部は評価不要です。

小五郎「先月の3手と左右逆！だから答えも裏返し…
じゃないんですね。」

☆裏返しでないところがアンチキルケなんですね。

伊達 悠「前の作品展の物と一緒にして、いつか小峰
耕希さんの作品集が出た時に最初の

問題にしておきましょう。」

☆新訳・神話大全の1番は決まったようです。

初2. たくぼん 作

アンチキルケばか詰 5手 正解者 11名



【詰手順】

3七桂 1五玉 4二角 3七と/3三と 2五馬
迄 5手詰

【解説 (のようなもの)】

これ以上どうにもならない作品。簡素なところと復活合の勉強に手頃といえる手順が狙いです。初級にしては難しいと言う声もありましたが、境目というのが当たってるかな。

若林「簡素で良いですね。この変が初と短の境目ですか。」

橋本孝治「初1では紛れに隠れていた復活合が表に登場。出題時のコメントに「テーマ無し」とありましたが、共通性は感じます。わざわざ取られる位置に打つ桂にも味わいがあります。」

☆易しいながらアンチキルケらしさが表現できたので私にしてみれば上出来です。

小峰耕希「第1回作品展のもず作を見た時には驚いたものですが、あれから半年、すっかり感覚麻痺してしまいました。」

☆もはや半年で常識になりました。新手筋はもう無いのかな？

北村太路「手が狭いはずなのにかなり悩みました。アンチキルケらしい絶妙の受けが痺れます。」

隅の老人 B「これが初級？、私もまだまだ勉強しなければ。4手目の応手に痺れました。」

☆またまた～

吉川慎耶「短編向けだと思います。」

冬眠蛙「馬を動かす方ばかり考えて時間を浪費。角打がこの位置に限定できるのはアンチキルケならではですね。」

もず「一手遅れる駒取り。すっかり基本手筋になりましたね。」

癩癩老人「37とが見えず結構苦労。B」

☆ちょっとうれしい。

小五郎「この一呼吸おいての復活移動合が何ともいい味。」

☆しかに1手間がありますね。この微妙なリズムがアンチキルケリズムです。

伊達 悠「いやあ余詰も無しに3枚に押しとどめましたか。すごいです。」

☆私もびっくりです。(意味不明)

.....

【全題正解者】

橋本孝治、若林、隅の老人 B、伊達 悠、吉川慎耶、小五郎、橋 圭吾、小峰耕希、北村太路、もず

作品展・短編の部

短1. 吉川慎耶 作

アンチキルケばか詰 5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

			王						一 ▲飛桂
				皇					二
	龍	龍							三
			歩		玉				四
					馬				五
									六
									七
									八
									九

【詰手順】

53 桂 51 玉 31 飛 42 玉 41 桂成

迄 5手詰

【投稿時の作者コメント】

今回は相乗効果なるでしょうか？

【評価】

自力正解者・・・1 1名

A・・・0、B・・・4、C・・・5 平均点・・・1.44(7位)

お気に入り投票 : 0

【解説 (のようなもの)】

前回平均点トップ&お気に入り2位と活躍した吉川さんの登場。本作と2番はツインとしての作図です。作者は相乗効果を期待したようですが、解答者の反応はイマイチで、逆に2番の引き立て役としての役目を果たしたようになってしまいました。

内容的には3一への限定打はなかなかの味です。2番の初手との対比としても面白いと思います。しかし手順があまりにも普通のばか詰っぽい手順で、不要駒3枚となれば(誰かさんの6番と同じく)再考の余地があったかもしれません。アドバイスできなかった担当者も反省です。

【短評】

若林「73 龍も 64 歩もいりませんね(作意発見後 FM 使用)。紛れにも見えないし、うーん。C」

☆実は4五角もとは・・・

橋本孝治「ツインになるから付け足した、というのではあまり意味がないと思います。厳しいですが…C」

北村太路「詰上がりの形が珍しくて面白い感じ。B」
隅の老人 B「簡単に詰んで、正解かなと再思考。まるで、ばか詰。B」

☆詰上り良く見るとアンチキルケらしいところもあるんですが・・・普通に見えてしまいますね。

小峰耕希「3手目がセールスポイントなのですが、意地の悪い推理をすれば、本命は短2の方で、その余詰順に限定打が入ったのでツイン発表…。当たってます？ 違うかな…。C」

☆そのところは突っ込んではいけない！

冬眠蛙「比較的普通ばか詰っぽい感じ。B」

もず「駒のない方向に追っていくのが見えにくかったです。ただ、短2につなげるためとはいえ、64歩73龍45角と3枚を省けるのはどうでしょうか。C」

癩癩老人「ただのばか詰手順。C」

小五郎「なぜか歩不成の印象が強い作者。どこかで63歩不成が入るかとの予想を裏切られました。」

☆今回は2作とも裏切られました

伊達 悠「これはそこまで難しくなかったです。まあ姉妹作ですからね。B。」

短2. 吉川慎耶 作

アンチキルケばか詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
▲			王						一 ▲
				皇					二 飛
	▲								三 桂
			歩		玉				四
					▲				五
									六
									七
									八
									九

【詰手順】

11 飛 62 玉 54 桂 同香 63 歩成

迄 5手詰

【投稿時の作者コメント】

初手が狙いです。

【評価】

自力正解者…12名

A…3、B…6、C…0 平均点…2.33(4位)

お気に入り投票 : 2

【解説 (のよなもの)】

さてツインの本命の登場です。結果お気に入り2位と前回に続いての好成績です。

復活位置封鎖物を短く5手でまとめたところが上手いですね。狙いも分かりやすく難解でないので解答者からは全員正解+好評価でした。最終手6三歩成を実現する為に5四桂 同香と角筋を遮断したいが同香の時点で1一に香が復活してしまい遮断できない。そこで初手1一飛と香の復活が出来ないように飛車を打つのがポイントです。

もう一つ上手いと思ったのは4四王配置、5四桂を同角と取って2二に復活すれば6三への利きが無くなって詰みそうですが、逆王手になるんですね。座布団1枚って感じですね。

毎月毎月、成長の跡が見られる作者の次回も期待できそうです。

【短評】

若林「あ、そういうことでしたか。こちらの限定打は良いですね。B」

橋本孝治「もう一捻り欲しかった。例えば91も埋める手順構成にするとか…。復活位置封鎖のテーマは、どうしても前回の短4と比べてしまいます。B」

☆前回は特に素晴らしかったですからね。9一も埋めるのはかなり難しそうですね

北村太路「1一飛はいいですね。ただ1, 2とも単独で見ると1の6四歩とかの意味がないような気がします。ツイン的に形を似せる意味がはっきり言ってないと思います。単独でそれぞれ洗練した方がよかったですように思います。B」

隅の老人 B「短1のおかげで、大苦勞。それだけに、

初手の発見は嬉しい。B」

☆チョット意外なコメントですね

小峰耕希「狙いが明快で好感が持てる、ただこの筋は第3回作品展のゆあんさん作が決定版として出てしまってるのですが。A」

冬眠蛙「9 1 龍配置が絶妙。短1と比較することでなお際立ちます。B」

☆これを読むと短1も役目を果たしているね

もず「香を復活させないための遠打。飛を1段目に打つ形は余詰みやすいところ、うまくまとまりました。A」

☆めっちゃめっちゃ余詰みやすいですね～この形は。玉座辺りでの作品が多いのも吉川さんの特徴ですね

癩癩老人「こちらはまずまず。B」

☆よかったよかった

小五郎「短1とツイン。香を復活させない11飛がポイントですね。」

伊達 悠「これは本当に悩みました。2重の意味で9一龍の配置があったとは。圧巻です。A。」

短3. 橋 圭吾 作

アンチキルケばか詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									▲なし
							蟹		一
									二
									三
							飛		四
	マ				歩				五
	王				銀		飛		六
				桂					七
									八
		銀		玉		銀			九

【詰手順】

88 銀 同馬/22 馬 56 銀 67 桂

同銀/79 銀 76 玉 68 桂 迄 7手詰

【評価】

自力正解者・・・12名

A・・・4、B・・・5、C・・・0 平均点・・・2.44(2位)

お気に入り投票 : 1

【解説 (のようなもの)】

第3回以来久々の登場の橘さん、見事な構想物でお目見えです。

アンチキルケの特徴に居食いという手順がありますが、本作の2手目が居食い。玉側に居食いさせて7九の銀を消去するというのが本作の狙いです。何故7九の銀を消去しないといけないか？それは合駒を取る為ですね。5一が抑えられていない場面ですので桂吊るしの詰上がりは慣れてきたら予測できます。だから桂が欲しいのです。5六銀と開き王手した時に合駒を取ろうとすれば同銀/〇〇銀の復活開き王手をしないといけません。3九は埋まってますので7九への復活を目指せば、7九銀の存在が邪魔というわけです。

やはり狙いを端的に実現している作品の評価は高いですね。

解答者全員正解で、平均点2位ですから好作といっ
ていいでしょう。

【短評】

若林「これは配置を見たら銀を捨てるしかないだろう。目的も47銀の復活場所を作るためと簡明。B」

橋本孝治「邪魔駒をたった2手で原形のまま消去するという、アンチキルケらしい作品。

桂を取る位置が5筋で、復活位置の選択もあれば更に

良いと思いますが、無理でしょうか？A」

☆どうでしょう？橘さん！

北村太路「形がすごい。2枚の飛から玉を6段目に呼びたいとは思いましたが。邪魔駒消去とは気づきませんでした。初手8八銀と最終手6八桂に限定するのに馬一枚で取まっています。狙いがはっきりしています。A」

☆作図家はそういうところに感心します。私もそんなときニタッとよくします。

隅の老人 B「銀を消しておくのが、妙手。連珠の法則問題の味ですね。B」

☆連珠はわかりません、すいません。

小峰耕希「2手目が”1手でスイッチバック”と感じてしまう。ただこういうのって評価するのが結構大変です。B」

☆私は第4回の金捨てが記憶に残っています

吉川慎耶「やっぱり銀がない方が得だった。B」

冬眠蛙「1手で邪魔駒消去できるのか。なるへそ（死語）。A」

もず「銀で桂合を取ることを目的とした、復活場所にある邪魔駒原型消去ですか。強引な詰め上がりですが面白い意味付けだと思います。A」

痛癩老人「吊るし桂で詰ますしかない形。B」

☆慣れてくるとそう感じますね

小五郎「じゃま駒消去とつるし桂。馬の睨みで最終手を限定。」

伊達 悠「邪魔駒消去。詰キストならすぐにわかる？B。」

短4. もず 作

アンチキルケばか詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				銀					▲ 角
				銀					二
			銀		馬				三
				玉					四
								銀	五
								飛	六
								玉	七
									八
	馬			桂					九

【詰手順】

67桂 66玉 93角 77玉 75桂 66玉

63桂生 76玉 75角成 迄 9手詰

【投稿時の作者コメント】

桂の三段跳ねです。合駒も駒取りもないのですが角で51を縛る筋を残したままにできたのでこの駒数ならまあまあかと判断しました。

【評価】

自力正解者…6名

A…6、B…1、C…0 平均点…2.86(1位)

お気に入り投票 : 4

【解説 (のようなもの)】

TOPIXの2階級制覇して絶好調の作者。またまたヒットをかつ飛ばしました。お気に入り&平均点共にダントツの1位でした。

私の初見では5一は角で抑えるものと感じてました。(4七桂～2四角 3五合 の筋とか)まさか5九の桂が3段跳ねで抑えてしまうとは意表を突かれました。無解者が多かったのも桂の3段跳ねの構想に気付かな

かったからでしょう。

飛車筋と角筋を微妙に遮りながらの開き王手による桂の3段跳ねはまさに圧巻です。それにこの美しい初形と少ない駒数で余詰を抑えたのは神業のような気がします。傑作誕生に拍手拍手です。

【短評】

若林「いきなり難しくなる。まさか88角から駒取りは無いだろう。ということで桂でも跳ねてみる……ん。飛の横効きが消えた。……この手数で桂の3段跳！実現できるものですねえ。A」

☆この構想が実現できることに皆驚いています
橋本孝治「初形を見て51に攻駒を利かせる筋は無理だと思ったのですが、それが実現してしまったのにはビックリ。ただ、手順だけ見ると、よくある桂の3段跳なのが弱点。A」

☆よくあるんですか～

北村太路「桂をどんどん跳ねたいのは察しがついたのですが、舞台中央に駒を置かずに軌跡を定めれたことに驚きを感じます。最初は飛の利きをまたいでくるのかと思いました。A」

隅の老人 B「桂の3段跳び。なんでも出来るものと、妙に感心。B」

吉川慎耶「3段跳ねや桂の影に隠れる王の動きが楽しめる。A」(FM使用)

もず「配置ができるだけ左右対称になるように努力しました。桂をどちらに跳ねるかは、飛の利きの向きだけによって決まります。」

癩癩老人「最初はすぐ解けたみたいで印象はないが2回目はだいぶ苦しんだ。配置には苦労したと思います。A」

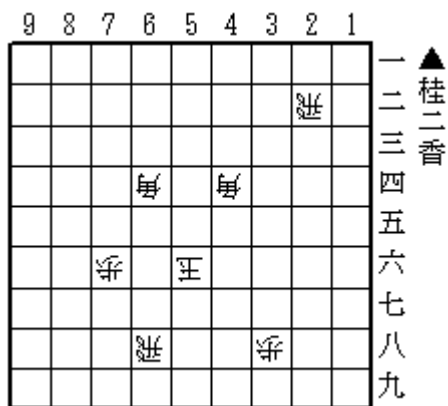
☆その苦勞を図面では感じさせないところがすごい
小五郎「詰パラ 3月号P161で七郎さんが解説されていた「玉の斜め後ろに桂」を発見したのですが・・・解けず。」

☆私は今でも玉の斜め後ろに桂理論がよく分からない
伊達 悠「見た瞬間、桂の3段跳びにピンとききました。それでも、もずさんの創作力には脱帽。駒数をこれだけに抑えるとは。A。」

☆見た瞬間とは恐れ入りました。桂の3段跳びを頭に描けば正解にたどり着くのはそう難しいことではないと思います

短5. 若林 作

アンチキルケばか詰 9手



【詰手順】

48 桂 55 玉 59 香 56 桂 同桂/89 桂 66 玉
78 桂 67 玉 79 桂 迄 9手詰

【評価】

自力正解者・・・9名

A・・・0、B・・・8、C・・・0 平均点・・・2.00(5位)

お気に入り投票 : 0

【解説 (のようなもの)】

若林さんのアンデパンダン2解問題との連作物です。あちらは2解問題ですのでアンデパンダンにいらっしゃいました。

いつもの桂吊るしとは違い、今回は5一が抑えられています。桂と香を使って合駒を取るの予想ですが金合っポイ感じはしました。しかし若林さんと言えば桂ですか・・・やっぱり。詰上がりは3桂詰。きれいです。

しかし評価オールBというのは初めてですね

【短評】

若林「こちらは桂合いでした。見返すとア1とどちらかに絞るべきだったかな。B」

☆これはこれで良さがあると思いますよ

橋本孝治「余詰防止が強すぎるのが難点。紛れを消したため、桂という弱そうな合駒を選ぶという味も消えています。B」

北村太路「三桂あって詰まぬことなし。形に比べて手順はそんなに面白くないか。B」

☆詰ましくさと解後感は別なんです

隅の老人B「初手に10分、香打桂合に20分。暇な私には、手頃な難問。B」

☆私も同じくらいでした

吉川慎耶「ア1の76銀迄と同じ様な作意なので簡単でした。B」

もず「香の打ち場所と桂の復活位置が限定されることが大きなヒントになりました。B」

癩癩老人「金合ばかり考えてました。B」

☆私もそうでした。作者名を見れば良かったんですね
小五郎「持駒から手は広くなさそうに見えるのです

が・・・ア1の2解とまとめて解こうと試みたものの失敗。」

☆無解でも感想を書いていただけて感謝です

伊達 悠「盤面全体でバラツとした初形。これも王手が多く、結構悩みました。B。」

☆きれいな初形です

短6. たくぼん 作

アンチキルケばか詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					㊦				一 ▲ 飛
			㊦	㊦	㊦				二
									三
									四
									五
									六
						継	㊦		七
					㊦			王	八
					㊦				九

【詰手順】

38 飛 29 玉 37 飛/28 飛 39 玉 31 飛

38 金 同飛寄/28 飛 32 と 29 金 迄 9手詰

【評価】

自力正解者・・・1 1名

A・・・1、B・・・6、C・・・2 平均点・・・1.89(6位)

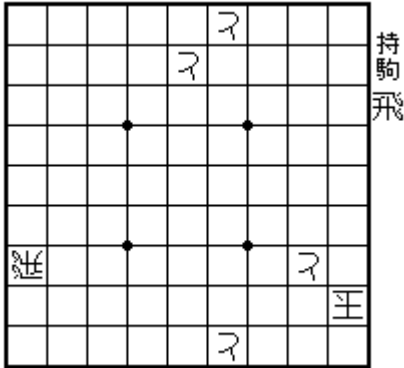
お気に入り投票 : 0

【解説 (のようなもの)】

さて困った。何でこの図が載ったのか・・・この図は創作開始初期の基本図でした。ここから不要駒を足したり引いたりして作品を創ったはずなのだが・・・最後に上書き保存してなかったのかも・・・で完成図

も記録がなく。最近ミスが多いですね。失礼しました。
不要駒排除して創り直しました。

(下図・・・9九飛のほうがいいかな)



まあ似たりよったりですね。作者とすれば「こんな詰むんかいな！」と書いていただける初形を創って見たかったということです。詰上がりの重複感が冴えない感じです。

【短評】

若林「手順や収束形は綺麗なんだけど、飾り駒(42,48,62)多いですねえ。C」

☆上記理由によるものです・・・トホホ(死語)

橋本孝治「51は絶対安全かと思いきや、「41と」が動くだけでアッサリ陥落。何だかユーモラスな作。B」

☆ちょっとだけ狙いに触れてもらえたようです

北村太路「これも形がすごい。5一を守っていたかと思っていた4一とがあっさり職場放棄して、おいおい！と思いました。合駒を利かせた駒と違う駒でとってから、利きを別に塞ぐなど細かな手順がさすがの出来です。A」

☆これは褒めすぎ(でもうれしい)

隅の老人 B「孫が一瞥、」詰むわけない。お爺ちゃん、

なにを考えてるの。” B」

小峰耕希「安直に飛を取れば詰んでしまうので、ちょっと物足りない。C」

吉川慎耶「詰上りに28飛を役立てたい気がする。B」

☆確かにそうですね

もず「51に利かすのが無理そうに見えたためはじめはどうやって詰むのか見当が付きませんでした。32と上を発見して解決しました。B」

痲癩老人「非限定を嫌えばこれしかない手順。B」

☆これがフェアリーを解くポイントですね

小五郎「金合がとても意外に見えました。飛と金のきれいな初形。」

伊達 悠「飛車をとった後で意外に迷いました。突然ひらめいたのが補習授業中。「あっ」とは言いませんでしたが(笑)。B。」

☆私は車の中で「おっ」って良く言います

短7. たくぼん 作

アンチキルケばか詰 11手



【詰手順】

26角 24玉 15角 33玉/51玉

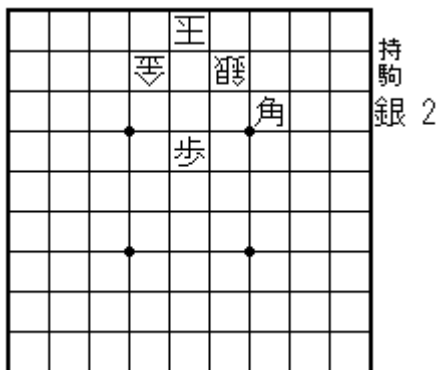
52 銀 同金/61 金 52 銀 62 玉
 53 歩成 同銀/71 銀 63 銀成 迄 1 1 手詰

【評価】

自力正解者・・・9名
 A・・・3、B・・・5、C・・・0 平均点・・・2.38(3位)
 お気に入り投票 : 1

【解説 (のよなもの)】

本作の元の図が下の7手詰



お気に入りの作品ではあったのですが、余りにも紛れがなくて放置していたものに無理やり4手逆算したのが発表図。前半と後半のアンバランスさはイマイチな感じ。やはり7手の方がよかったか・・・。
 この収束は意外と見えにくいのではないかとというのが狙いではあった。

【短評】

若林「これは綺麗ですね。序のミニ千鳥と、角筋の通し方が良いです。A」
 橋本孝治「33歩は最終手両王手のための種駒かと思っていたのですが、ただのジャンプ台だったのですね。金銀の限定復活も見事ですし、今回の短編の部では一番のお気に入りです。余談ですが、私は最初手数を9

手と思い込んで、ウンウン唸ってました。翌日図面を見直して愕然。暗算をするときは手数もしっかり憶えないと…。A」

☆お気に入りとは感激！でもだんだん七郎さんも私と同じ症状が・・・移ったかも

北村太路「6二に玉が逃げられたら詰めれないと錯覚しました。5筋の復活を2回うまく使っています。A」
 (FM使用)

隅の老人 B「角の利きに逃げても大丈夫。不思議な応手です。B」

吉川慎耶「詰み型が見えず苦戦した。B」

☆創っている時に私もそう思いました。でも生かしきれませんでしたね

もず「5筋で駒を取った金銀の復活位置が限定されているのは面白いのですが手順が今ひとつな感じがしました。すみません。B」

癩癩老人「B」

小五郎「6手目までは第一感ですらすら進んだのですが、7手目に62銀と打って迷走してしまいました。」

伊達 悠「6手目まではすぐに考えたのですが、何故か残りの5手で悩んでしまいました。よく考えると単純なことでしたが。B。」

☆う～ん序がイマイチかやっぱり・・・

.....

【総評】

若林「お気に入り：短4 今回は前回は強すぎたのでやや弱めでしたが、それでも短4の収穫は大きい。」
 橋本孝治「今回の短編の部でのお気に入りは「短7. たくぼん作」です。主題の鮮やかさでは「短3. 橋圭吾作」の方が印象度が強いのですが、完成度の高さで、

たくぼん氏の作に軍配を上げました。」

北村太路「短編は今回は非常に優れている、というのはなかったです。お気に入りには、舞台作りのうまさで短4で。」

隅の老人 B「お気に入り：短2」

小峰耕希「今月も短編余り解けてませんね。どうも最近協力詰系の作品は中・長編を解くのが好きになって来て、逆に短編は筋が読めなくていらいらするせいか、解図意欲が低下気味。今回も（解けた中では）受賞級と思えるものはありませんでしたが、取りあえず②吉川作に投票します。またしても無解になった作品の解を調べずに投票してしまいました。」

吉川慎耶「お気に入り作：短4」

もず「短編のお気に入りには3にします。銀の原型消去という意欲的な構想を買いました。」

癩癩老人「お気に入り：短4」

伊達 悠「お気に入り作；短二と迷いましたが・・・

短四です。普通の詰め将棋でも実現されたのはそこまで多くない攻め方3段跳びは解后感満点です。」

【解答成績】

解答者名	1	2	3	4	5	6	7
若林	○	○	○	○	○	○	○
橋本孝治	○	○	○	○	○	○	○
北村太路	○	○	○	○	○	○	△
隅の老人 B	○	○	○	○	○	○	○
小峰耕希	○	○	○			○	
吉川慎耶	○	○	○	△	○	○	○
冬眠蛙	○	○	○				

もず	○	○	○	○	○	○	○
癩癩老人	○	○	○	○	○	○	○
小五郎	○	○	○			○	○
橋 圭吾	○	○	○		○	○	○
伊達 悠	○	○	○	○	○	○	○

*□は fm 使用

解答者数 12名 うち全題自力正解者 6名

全題自力正解者は6名と前回より増えました。前回よりは全体的に易しかったようです。

【お気に入り投票・結果】

今回のお気に入り投票は投票総数・・・9

順位	No.	作者名	投票	無	A	B	C	平均点
1	4	もず	5	6	6	1	0	2.86
2	2	吉川慎耶	2	0	3	6	0	2.33
3	3	橋 圭吾	1	2	4	5	0	2.44
4	7	たくぼん	1	3	3	5	0	2.38
5	5	若林	0	3	0	8	0	2.00
6	1	たくぼん	0	1	1	6	2	1.89
7	6	吉川慎耶	0	1	0	4	5	1.44

※ 順位はお気に入りポイント順(同点の場合は平均点上位順)

今回の成績はお気に入り&平均点共にもずさんがダントツのトップでした。TOPIX受賞の勢いがそのまま続いている充実振りです。ストップ・ザ・もずを目標に皆さん頑張りましょう！（お前が一番がんばれよ～と言われそう）

作品展・中編の部

中 1. 神無七郎 作

アンチキルケばか詰 17手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

			香		香					▲なし 一 二 三 四 五 六 七 八 九
			駒	毎	駒					
玉				毎						
香	逃									
王	皇	金								
	守	飛								
銀	皇									
香		銀								

【詰手順】

89 銀 97 桂 同香/99 香 97 桂
 同香/99 香 97 桂 同香/99 香 97 桂
 同香/99 香 98 成香 88 桂 同歩生/83 歩
 88 桂 同香成/91 成香 88 桂 同飛生/82 飛
 88 桂 迄 17手詰

【投稿時の作者コメント】

同一地点4連打を攻守両方でやってみました。

【評価】

自力正解者・・・11名
 A・・・4、B・・・4、C・・・0 平均点・・・2.50(1位)
 お気に入り投票 : 5

【解説 (のようなもの)】

連続合いシリーズは第4回の北村作(4金)に続き第2弾です。しかしさすがに七郎さん玉方だけでなく攻方側も4連打という複合趣向でなるほどって思わせてくれます。その受け方も成ったり成らなかつたり

復活で飽きさせません。成香が寄って桂打の場所を空けるのもちょっと面白いところです。まったく遊びのない17手での構成で完成品といえるでしょう。

あと残るのは歩18枚と香4枚と銀4枚と飛2枚と角2枚・・・さあ早い者勝ちですよん～

【短評】

若林「おお。紛れは無いけれど美しい。桂版がさっそく出ましたね。B」

☆残りをお願いします

橋本孝治「B」

小峰耕希「初手開き王手した時に、限定合に出来るのは桂のみ。なので桂合の繰り返し部分はそんなに感心しないのですが、その直後の成香移動合が成る程と思わせる手。A」

北村太路「ぱっと見、受方同一地点連続四桂合か、と思ったんですが、進めたら攻方同一地点連続四桂王手のW趣向でした。七郎さんが単純に作ってくるわけがないか。失礼いたしました。A」

☆この辺りのこだわりを私も身に付けたい

隅の老人 B「歩合から考える、一苦勞。上手に桂を使い切りましたね。B」

☆歩や香があるのも紛れが増えていいですね

もず「同一地点桂4連合から同一地点桂4連打とは！首尾一貫した構成で楽しくなります。A」

癩癩老人「甲乙つけがたいが成駒が汚いのは好きませんのでこちらをお気に入りにしておきます。B」

小五郎「冗談のつもりで桂を8回打ってみたら詰んだというタナボタ的解答。指運がありました(笑)。」

伊達 悠「えーっ?!これはどう考えればよいのだろうか。5一に復活させると、取れる駒は桂馬だけだ

し・・・・・・・・(そのまま考え込むこと数時間)・・・・・・・・
 んんん？持ち駒は桂馬だけ？・・・どあーっ！！！！
 というわけで、成香の移動合、3段ロケットの連続復活
 ということでしたか。香車だけ成って復活するのが
 良い感じです。A。」

中2. 北村太路 作

アンチキルケばか詰 37手

										▲香歩十六
			香	香					逃	一
			香	香						二
										三
										四
									角	五
									玉	六
皇	科	龍	香	桂	香	龍				七
龍	皇	馬	手	龍	手	馬	皇	王		八
										九

【詰手順】

- 19歩 同成香/11成香 19歩 28玉
- 29歩 同成銀/31成銀 29歩 38玉
- 39歩 同成桂/21成桂 39歩 48玉
- 49歩 同馬/22馬 49歩 58玉
- 59歩 同成桂/81成桂 59歩 68玉
- 69歩 同成銀/71成銀 69歩 78玉
- 79歩 同成香/91成香 79歩 88玉
- 89歩 同龍/82龍 89歩 98玉
- 99歩 89玉/51玉 57香 52歩
- 43桂 迄 37手詰

【詰上図】

皇	馬	馬	香	王	香	馬	馬	皇	持駒なし
	龍		香	香	香		龍	逃	
					桂				
								角	
								王	
皇	科	龍	香	香	龍				
歩		歩	歩		歩	歩	歩	歩	

【投稿時の作者コメント】

収束も凝りたかったのですが、余詰が消せず一番簡単な方法になりました。

【評価】

自力正解者・・・11名

A・・・3、B・・・4、C・・・0 平均点・・・2.43(2位)

お気に入り投票 : 3

【解説 (のようなもの)】

持駒のほとんどが歩なので手なりに進めていくとある程度の流れは読めてきます。歩で1つずつ駒をはがしていき左辺に追っていきます。ポイントは香をどう使うか。作者の狙いを看破出来なければ69や79に打つ駒を香にして98玉の時に金か銀を取って99香復活王手という紛れに目がいくかもしれません。この順は51へ復活されたらどうにもならないですね。51に復活されたら桂が無いとどうにもならないからです。で取れそうな桂はというと57にありますのでそれを狙う59香が好手となります。59香を据えてからは桂を取る57香を実現する為に9九に歩を据えます。最後9九の歩ではなく8九の歩を取らせるのはその為です。

これがいいアクセントになっています。そんなに難しくはありませんが、リズムカルな手順にしっかりした狙い・・・北村さんらしい好作でした。

【短評】

若林「……と思ったらもっと紛れが無かった。でも全駒使用で楽しいですね。さりげなく 99 歩は取れない収束の味は好き。そして詰形はノーマルメイト。B」

橋本孝治「単なる思い付きだけではなく、意味付けにも凝ってますね。これが発展すると長1になるのでしょう。構想と趣向の両方が楽しめる良作。A」

☆理想的な組み立てだと思います。

小峰耕希「解図時、持駒の香は打歩回避のためかと勘違いし遠回り。57 桂の配置は飾りかとばかり思っていたら、びっくりの収束でした。実は僕も趣向部分を思い付いてはいたのですが、結局細かい機構や収束が思い付かず放置していました。流石は北村さんですね！

A」

北村太路「どこで香を打つか問題、ってすぐ答えがわかっちゃいそうですね。収束を懲りたかったのですが、余詰が出てやむなく一番単純になってしまいました。成銀と成桂もなんとなく逆にしたかったんですが、やっぱり余りました。9九歩を残さないといけないので当たり前ですが、玉が8九の歩を取るのも少し気に入ってます。B」

隅の老人 B「59 に香を打っておくのが、好手。アンチ詰らしく、最後は 51 玉で詰み。全員揃いましたねと、先生の声。B」

☆皆成長して帰ってきました

吉川慎耶「香車を打つタイミングの問題だが〇〇香/99 香の王手が目に付いて意外と悩まされた。B」

もず「歩を連打していくのはすぐわかりますが、その意味付けはしばらく考えさせられました。香の復活を阻止するために 99 を埋めるんですね。すごいです。

A」

癩癩老人「B」

小五郎「見るからに趣向っぽくて楽しい。いろんなアイデアがあるものですね。」

☆まだまだきつとあるんでしょうね。楽しみなことです

伊達 悠「何故か解けません。FM に解かせました・・・って・・・FM も全く解けていないのですが。10分以上たっても同じ手順を繰り返すばかりで。」

☆10分じゃ短すぎです

.....

【解答成績・総評】

若林「お気に入り：中2 中1に集まりそうだけれど、良い意味でくだらなさを買います。」

橋本孝治「中編の部のお気に入りには「中2、北村太路作」。自作は答えを知っているので、あまり面白くないんですよ。まあ、そういった要因がなくても今回は北村作を選んだと思います。」

小峰耕希「中編部門は◎北村さん作を1位に推薦します。」

北村太路「お気に入り：攻方でも4連打出来たんですね。お気に入りには中1で。」

隅の老人 B「お気に入り：中1」

もず「中編のお気に入りには1にします。どちらも楽しい作品で非常に迷ったのですが、様式的な完成度を採ることにしました。」

癩癩老人「お気に入り：中1」

伊達 悠「お気に入り作；回答がわかれば変わるかもしれないが・・・・・・中一です。」

【解答成績】

解答者名	1	2
若林	○	○
橋本孝治	○	○
小峰耕希	○	○
北村太路	○	○
吉川慎耶	○	○
隅の老人 B	○	○
もず	○	○
癩癩老人	○	○
小五郎	○	○
橋 圭吾	○	○
伊達 悠	○	△

△ はFM使用解答

解答者数 11名 うち全題自力正解者 10名

全題自力正解者は10名でした。今回の2作はそんなに難解でなかったのが楽しめたのではないのでしょうか。

【お気に入り投票・結果】

今回のお気に入り投票は投票総数・・・8

順位表

順位	No.	作者名	投票	無	A	B	C	平均点
1	1	神無七郎	5	0	4	4	0	2.50
2	2	北村太路	3	1	3	4	0	2.34

※ 順位はお気に入りポイント順

今回は順位付けというよりはお好みのタイプはどち

ら？って感じでした。狙いの鋭さで七郎作がやや上回りました。北村作はどちらかというと長編趣向物って感覚でしたね。

長編の部

長1. 北村太路 作

アンチキルケばか詰 83手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								飛	一
							香	香	二
							香	香	三
							香	香	四
							桂	桂	五
							桂	桂	六
							桂	桂	七
							桂	桂	八
							桂	桂	九

【詰手順】

28 飛 27 歩 同飛/28 飛 27 歩

同飛/28 飛 27 歩 同飛/28 飛 27 歩

同飛/28 飛 27 歩 同飛/28 飛 27 歩

同飛/28 飛 27 歩 同飛/28 飛 27 歩

同飛/28 飛 27 歩 同飛/28 飛 27 歩

同飛/28 飛 27 歩 同飛/28 飛 27 歩

同飛/28 飛 27 歩 同飛/28 飛 27 歩

同飛/28 飛 27 歩 同飛/28 飛 27 歩

同飛/28 飛 15 玉 16 歩 1 四玉

15 歩 同桂/21 桂 15 歩 23 玉

24 歩 同金/41 金 24 歩 34 玉

35 歩 同銀/31 銀 35 歩 45 玉

46歩 56玉 57歩 同成銀/71成銀
 57歩 67玉 68歩 同飛生/82飛
 68歩 78玉 79歩 同金/61金
 79歩 88玉 89歩 同桂成/81成桂
 89歩 87玉 88歩 96玉 97歩 95玉
 96歩 94玉 95歩 93玉 94歩 83玉
 93歩成 84玉 94と 73玉 84と 72玉
 73と まで 83手

【詰上図】

	王	王	香		香	香		持駒なし
	王					香		
		と		香		香	香	
				香		歩		
			香		歩	桂	歩	
	香		香		歩	王		
		香	歩				王	
王	歩		歩			王	飛	
		歩				王		

【投稿時の作者コメント】

あと2つ誰か付けてください。

【評価】

自力正解者…10名

A…3、B…5、C…1 平均点…2.22

【解説 (のようなもの)】

今回の中編の部の作と似た趣向ですが、歩の持駒を連合で獲得するという序奏が付いています。獲得した歩を使って玉の逃げ道を開けながら左辺に追っていきます。詰上図を見れば分かりますが、8一の桂は成らないとダメ、8二の飛車は成ってはダメとなります。何人かの解答者のコメントにあります、歩18枚合

にしたいところではありました。不可能と言うわけではないと思うので近々どなたかが発表される気がします。私もこんな作品が作りたいといつも思うのですが、発想の閃きが全然ないですね。その点北村さんの「発想力にはいつも感心させられます。

最後にもう一度、作者の言葉を…「あと2つ誰か付けてください。」

【短評】

若林「……えーと、歩をひたすら手に入れて、アンチキルケで道を開きながら追うのか。なるほど！ 55金配置が肝ですかね。上手いです。A」

橋本孝治「よく出来た作だとは思いますが、このテーマをやるなら意地でも歩は18枚にして欲しかった。厳しいですが、評価を一段下げます。B」

☆16と18の間には大きな隔りがあるようです
 北村太路「ちょっと収束が蛇足気味だったかなあ。六七の成銀配置もできればなんとかしたかったです。八九桂成も自然と9段目だと成ってしまいそうなので、他の手段にしたかったです。歩18枚出来た方がいたら、発表してもらえるとありがたいです。評価Aは歩18枚になったら、ということで評価：B」

☆成生非限定はいつも悩みの種ですね

隅の老人 B「中1の勉強が役に立つ。あと2回歩合を増やしたい。B」

小峰耕希「最初は何枚まで歩を補充すれば良いのかわからなくて時間が掛かりましたが、手数を計算してみたら、16枚全部を入手しても残り50手ある事に気付く。という事は歩16枚連続合だ！ と確信を持って手順を進めたらびったり詰み。無投票優勝には勿体無い好作。TopIXの選考が更に悩ましくなる。A」

吉川慎耶「初形に何もない左上での収束はお見事。B」
もず「同一地点で歩の連合なんて私は考えもしませんでした。この形で収束がまとまっているのもさすがですね。18枚はやはり無理なのでしょうね。A」

☆いやいやきつと出来ますよ。(他人事のようにですが)
癩癩老人「B」

伊達 悠「うーん・・・手が途切れないようにうっていくと詰んでしまいました・・・桂馬だけ成って復活するとはいえ・・・銀も成って復活すればもう少し得点を稼げそうなきもしますが。C。」

☆なかなか手厳しいですね

【解答成績・総評】

今回は解きやすく1作だけだったこともあり解答者10名正解でした。このような作品でもっともっとファンが増えてくれればと思います。

【解答成績】

解答者名	1
若林	○
橋本孝治	○
小峰耕希	○
北村太路	○
吉川慎耶	○
隅の老人 B	○
もず	○
癩癩老人	○
橋 圭吾	○
伊達 悠	○

△ はFM使用解答

解答者数 10名 うち全題自力正解者 10名

前回に続き北村さんのおかげで長編解答数が増えたのはよかったよかった。

順位表

順位	No.	作者名	投票	無	A	B	C	平均点
1	1	北村太路	-	0	3	5	1	2.22

アンデパンダンの部

ア1. 若林 作

アンチキルケばか詰 9手 (2解)



【詰手順】

- 解1 48桂 55玉 59香 56銀
同桂/89桂 66玉 78桂 67玉
76銀 迄 9手詰
- 解2 48桂 55玉 58香 56銀
同桂/29桂 45玉 36銀
46玉 38桂 迄 9手詰

【投稿時の作者コメント】

飛角図式で行きたいですし、この2解はツインで行きたいのですがどうでしょう？

【解答成績】

自力正解者・・・6名

【解説 (のようなもの)】

初形飛角図式からの2解問題です。短編の部の作品ともリンクしています。美しい初形から桂馬を解1では左へ解2では右へと復活する対比が狙いで、左と右で銀と桂の持駒を打つ順番が違うのも対になっています。気をつけないといけないのは右の場合の香の打場所です。5九では最終手飛車に取られてしまいます。

2解問題とすれば初形も含めていい問題ではないでしょうか。余詰じゃないですよ

【短評】

若林「左右で銀桂の順番が変わる、というのが受け入れられるか。」

☆いい感じですよ

橋本孝治「2解で左右の復活を分けるのですね。洗練された表現とは言えませんが、まあまあという所でしょうか。」

北村太路「1つ目の解の飛を遮る5八香が少し味があるかな。短編の余詰と言ってしまうとそれだけになってしまいますが。(FM使用)」

☆香の打場所&打つ順番とポイントは押せていますね 隅の老人 B「鶏肋、余詰も言いよう。作者の気持ちは解ります。」

☆ふふふ

吉川慎耶「短5の歩が大きなヒント。」

もず「2解として優れた表現だと思います。短編に出

ていたら断然お気に入りでした。」

癩癩老人「二つ目(右)はなかなか見えませんでした。」

伊達 悠「うーん、悔しいけどもう一つの解の方はFMに解かせました。って、FMに解かせた方の解(左)の方が簡単だったかもΣ(° □ °ノ)ノ」

☆右と左 どっちに行っても答えがあるので解き易い？どちらが難しかったかはそれぞれでした

ア2. 伊達 悠 作

アンチキルケ打歩ばか詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						王	雀		▲角香歩
				馬			歩		一二三
						香	零		四五六
						龍			七八九

【詰手順】

33香 32桂 42角 22玉

24龍 同桂/21 23歩 迄 7手詰

【解答成績】

自力正解者・・・6名

【解説 (のようなもの)】

普通詰将棋のような初形だが、内容はなかなかいいける。自分の退路を合駒の桂による駒取りで復活させて封鎖する。なんだかばか自殺のような感覚です。新人としては出色の出来といえますね。次の3番と同一テーマで本作が桂のパターンで次作が香のパターンでし

た。比べてみるとはやり解いてみようという気がする
本作のほうが評判はヨカッタです。

【短評】

若林「綺麗に出来てます。限定合いから龍捨てによる
退路封鎖。」

橋本孝治「打歩詰誘致のための合駒の発生と移動…。
山田修司氏の取歩駒発生の構想作を連想させますね
(その裏返しですが)。打歩関連手筋をフェアリーに応
用すると、凝った作がいくらでも出てきそうな気がし
ます。」

☆打歩打開ではなくて打歩にするというのが面白いで
すね

北村太路「駒は多いが、桂限定合は面白いです。(FM
使用)」

隅の老人 B「合駒を移動して逃路を封鎖する。配置も
良く、好作。」

吉川慎耶「簡素な初形から繰り出される手順が上手い。
(FM 使用)」

☆軒並み好評です

もず「22 で詰ませたいのに玉の退路に攻方の駒を利か
せにくいので合駒の復活で埋めてしまうという。ア2
とア3はテーマ的にセットだったんですね。苦勞して
解いた後になって気付きました。こちらは最低限の手
順ですっきりまとまっていて好感が持てます。」

伊達 悠「これはまだまだ解きやすい気がしますね。
今改めて見てみると。」

☆きれいに出来ているというのが皆さんの感想です

ア3. 伊達 悠 作

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								香		一 ▲香歩
	逃				王					二
					銀				歩	三
									香	四
							逃			五
										六
										七
						角				八
										九

【ルール注意】かならず最後は打歩で詰ますアンチキ
ルケバか詰です

【詰手順】

15 角 31 玉 34 香 32 香 42 角成 22 玉
33 香成 同香/11 香 23 歩 迄 9 手詰

【解答成績】

自力正解者…6名

【解説 (のようなもの)】

引き続き同一構想の作品で本作は香パターンです。
前作より2手長いのと、ポイントがつかみにくそうな
初形でかなり難解だったようです。でも図を良く見て
いると1一の空間が目止まるかもしれません。北村
さんの評の香と香の間をすり抜ける角という表現が面
白いです。前作と違うのは合駒をさせるために打った
香が取らせる駒になることで前作の龍捨てに比べると
ややインパクトは弱いかもしれません。

次は銀と言う声が多いですので伊達君頼みますよ。

【短評】

若林「っと、ア2と同じですね。ア1の龍捨てのほう
が映えるかな。」

橋本孝治「前問の姉妹作と当たりをつければすぐに解けるものを、たくさんある 11 手の紛れに嵌って苦戦しました。次は銀を復活させる作かも…。」

☆これは実際に解いていないので難易度が分かりませんが橋本さんやもずさんが苦労したところを見るとなかなかだったんですね

北村太路「元ネタは一緒か。香と香の間をすり抜けていく角がこちらは面白い。(FM使用)」

隅の老人 B「狙いは、ア 2 と同じ。次は銀合かな。」

吉川慎耶「1 筋の駒とア 2 の解を見て分かりました。

配置が拮がってア 2 には劣ると思います。」

もず「22 で詰ませたい気がしたのですがなかなか詰まなかったのを玉を左に追ってみたり上部に追い出したりと様々な筋を読まされてしまいました。」

伊達 悠「こっちのほうがそれなりに紛れがあるようなないような。できれば七色図式にしたかったのが。」

☆なかなか食欲ですね。大物の予感がします。

ア 4. 若林 作

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	馬	香						香	▲ 角
		王							一
		龍							二
馬		香	香						三
香									四
									五
									六
	龍								七
									八
									九

【注意】本作は第 5 回作品展・伊達悠作の改作図です。

【詰手順】

91 角 82 飛 同龍/28 龍 62 玉 32 飛 42 歩
同飛成 52 馬 63 歩 迄 9 手詰

【投稿時の作者コメント】

配置を生かしてこんな図面ではどうでしょう。龍を 85 に置いたままだと初手 74 馬/28 龍の紛れが強すぎるので下げました。初手角打ち歩合同角の紛れを作るため 88 に。22 歩配置がアレですが、手順は良いなっていると思います。

【解答成績】

自力正解者…5 名

【解説 (のよなもの)】

打歩といえば歩の入手ですから、歩を合駒したくなるところを我慢されれば解くほうは苦勞します。普通の人は 8 二歩合を読みますね。ただ解答者にはやや微妙な反応が多かったようでアンチキルケらしさがもう少し出ればというのが大方の意見でしょう。

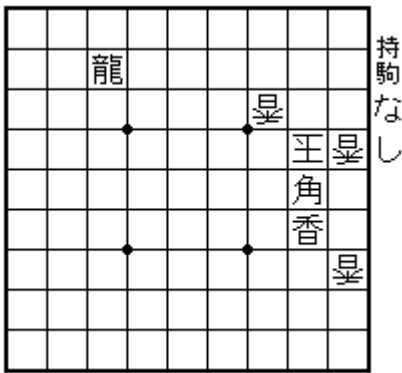
私も九州 G で合駒が出そうでなかなかでない作品を出しましたがテーマとしてはなかなか地味ではありませんね。解答者の気持ちになって作品を創っている方特有の感覚かもしれません。

【短評】

若林「本当は 22 の駒は復活で発生させたいですよ。え。こういう筋なら。それができれば新作になったかな。」
橋本孝治「最初に歩合いができるのに、最後の最後まで歩合いを出さないというのは、狙いとしては面白いと思います。ただ本作に限って言えば、後半が普通の打歩ばかり詰みたいになってしまって、アンチキルケの効果がいまいち伝わってきません。アンチキルケの効

果を強調するという意味では、歩合いを最後に回すという演出よりも、歩自体に活躍して貰うという方法も考えられます。また、下は原理図なので面白くありませんが、「最初に出現した歩を最後に取る」という構成なら、作り方次第で大きな効果が期待できると思います。」

アンチキルケ打歩ばか詰 7手



☆これはいいですね。ここにも載せちゃいましたが第7回のアンデパンダンで頂くことにしましょう。ここだけじゃもったいないですね。(＞七郎さん ご了承下さい)

北村太路「正直微妙な。8八龍の意味合いがつまらないし。改作する意図が正直わからないです。(FM使用)」

隅の老人 B「歩がないのに打歩詰、先ず82歩合を考える。」

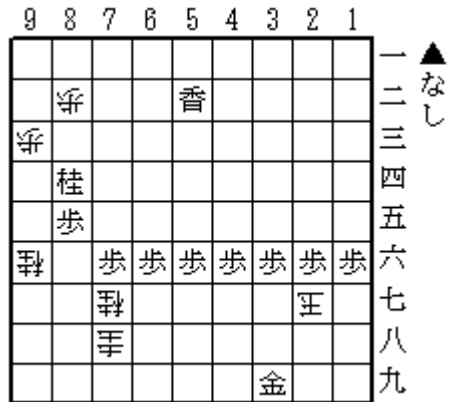
吉川慎耶「今度は隅じゃないのか…。この形は苦手。(FM使用)」

癩癩老人「11手の紛れを相当読まされた。アンチキルケっぽいのは最初だけなのがちょっと弱いか。」

伊達 悠「やはりベテランの方が改作なさったものは

一味違いますね。本当に恐れ入ります。」
 ☆今月のはなかなか好評でしたよ。

ア5. たくぼん 作



【ルール注意】 かならず最後は打歩で詰ますアンチキルケばか詰です

【詰手順】

- 38金 18玉 28金 19玉 18金 29玉
- 28金 39玉 38金 49玉 48金 59玉
- 58金 69玉 68金 79玉
- 78金/69金 88玉 78金 97玉
- 89桂 86玉 87金 95玉 86金 94玉
- 95金 83玉 94金 73玉 83金 62玉
- 72金 63玉 62金 73玉 72桂成 83玉
- 82成桂 94玉 95歩 迄 41手詰

【解答成績】

自力正解者…6名

【解説 (のようなもの)】

初めての打歩作品です。打歩に使う歩を取る方法を考えていただくと言うことです。成桂に歩を取ってもらうために8九に桂を打っておくという簡単な狙い

【詰手順】

26 銀引 同銀/25 銀 26 銀/37 銀 同銀成/37 銀
同銀/37 成銀 迄 5 手詰

【投稿時作者コメント】

最後の 3 手がやってみたかったことです。簡単ですが、少し面白いかなと思います。

【解説 (のようなもの)】

この銀 3 枚の簡素な初形に実に巧妙な手順を描いています。多分 100 人居たら 100 人は初手 2 六銀上とやると思います。それが詰まない。引には不利感がありますね。そして銀成らせの小技を巧みに操り見事な詰上がり。そして全着手が 2 六銀！まさに記憶に残る作品になりました。

【短評】

若林「あれ？銀を縦に並べるだけな筈なんだけど……と成を忘れてしばし。蓋を開けてみれば全着手 26。面白い。」

橋本孝治「簡素な初形で「成らせ」の手筋を純粹抽出した作品。下手に 4 銀詰にしなくて正解かも。」

☆ 4 銀でなくても充分な好作です

小峰耕希「おお！ よく見たら全手順 26 銀だ！（解答を書いている気付きました）」

北村太路「まず詰む形が思いつきませんでした。思いついてもなかなか辿りつけず。銀成りはまさに妙手！同銀 4 連続も面白いです。配置も含めて素晴らしい作品です。」

隅の老人 B「難しくはないが、巧妙。解けて、成る程、成る程。」

☆まさに巧妙です。

吉川慎耶「初手に一瞬の不利感。」

もず「考えてみると、PWC 図式集 No.4 の北村氏作とやっていることは同じですね。」

癩癩老人「これでいいとは思いますが 5 手なのに随分苦しみました。」

伊達 悠「なかなかの好手順ですね。短編の趣向にはぴったりです。」

PWC 2. 北村太路 作

PWC ばか詰 9 手



【詰手順】

88 角 77 香 同角/88 香 66 香
同角/77 香 55 香 同角/66 香 44 香
同角/55 香 迄 9 手詰

【投稿時の作者コメント】

名作をけがしている気も。

【解説 (のようなもの)】

これは北村さんの余興作「オーロラ」もどきリアルタイムでオーロラを解いた人にとってはこの作品は思わず「くすっ」としてしまうそんな作品です。

<参考>上田吉一作「オーロラ」

※かってに掲載失礼

8	8	7	6	5	4	3	2	1	
				桂	桂		香	と	一
					香	銀	桂		二 ▲
				銀	香	玉	香	と	三 飛
								香	四
						香			五
					銀				六
							龍	桂	七
	香								八
									九

これを知らない方は是非これを解図してみてください。
そうすれば北村作の面白さがじわじわと理解できるでしょう。

解答者の評を読むと、中学生トリオは知らなかった？
かもしれませんね。

まあ1973年の作品ですから私が中学生（ひえ～～）
時代・・・知らなくて当たり前ですね。

あれ？作品の解説をしてないですね。香を品切れにした
たいんですね

【短評】

若林「この配置で24飛 同金からの駒交換をすることは
ないだろう。……と、31歩配置か。ってことはこれは
PWC版オーロラか！」

☆正解です

橋本孝治「今回の作品展でアンチキルケも含めて最初
に解いたのがこの作品。もちろん、この初形に惹かれて
のことですが、期待にたがわぬ大技が出てきました。
本家（上田吉一氏）に見せて、反応を見てみたいです

ね。」

☆これは是非本家に聞いてみたいところですよ。（私は面
識がありませんが・・・）

小峰耕希「やたら配置駒が多いなあ～と思ったら、第
2回アンチキルケ展の時と狙いが似ている。北村さん
の作品は毎回主張がはっきりしている。（評価の際にプ
ラスに働くかマイナスに働くかは別として）」

北村太路「消えないオー・・・などと言うのは畏れ多
い。単なる消えないゴミですかね。一度3三香と打っ
てみないと意味が全くわからない。しかし、PWCで
わざわざすることもなかった気がします。余語消しだ
けのための9九飛もみっともない。」

隅の老人 B「香の連合を巧妙と思うか、なんだこれだ
けかと思うか、どちらかな？」

☆オーロラに気付かなかったかな？

吉川慎耶「何かに生かせそうな素材だと思う。」

もず「オーロラですか。ユーモラスで面白いと思いま
す。」

伊達 悠「初形が何らかの文字か何かであればよいの
ですが・・・」

☆オーロラ解いてみてね

△はFM使用解答

解答者数 9名 うち全題自力正解者 9名

今回は楽しめる作品とすることで全員正解でした。

【総評】

若林 (3/3 7:03)

「なるほど、「ほどよく楽しめる」という表現になりましたか。確かに難問はなかったかも。」

☆私は実際に解いているには少ないので怪しい表現ではあります。今回の一番解答は若林さんでした。2ヶ月連続の橋本さんは花粉症にやられたみたい？

橋本孝治 (3/9 18:52)

「なし」

小峰耕希 (3/15 9:31)

「今年からパラ会員入りし、奇しくも600号の表紙詰将棋結果稿に短評が載りました。この短評が掲載されればパラ初登場である旨を解答用紙に書いておくという、かなりずるい手を使っているのですが(^^;) ☆→姑息な(笑) やっぱりネット出題は素晴らしい！ 何しろ評を無理に短くする必要がないし、だいいち泣き落とし作戦を企てなくとも掲載されますから(…そういう問題じゃないか)。」

☆え～～っと作品をそろそろお願いします

北村太路 (3/21 22:52)

「今回はこれと言ったものがなかった気がします。」

【総評】

若林「今回は楽しい2編でした。」

☆次回は10作と少々手ごわいですよ。

【解答成績】

解答者名	1	2
若林	○	○
橋本孝治	○	○
小峰耕希	○	○
北村太路	○	○
吉川慎耶	○	○
隅の老人 B	○	○
もず	○	○
瘤癩老人	○	○
橋 圭吾	○	○
伊達 悠	○	○

はFM使用解答

【解答成績】

解答者名	1	2	3	4
橋本孝治	○	○	○	○
若林	○	○	○	○
隅の老人 B	○	○	○	○
伊達 悠	○	○	○	○
吉川慎耶	○	○		○
橋 圭吾	○	○	○	○
小峰耕希	○	○		
北村太路	○	○	△	○
もず	○	○	○	○

次回に期待。自分は最近、なかなかアンチキルケが思いつかずにPWCに浮気してます。」

☆共に盛り上げていきたいと思います

隅の老人 B (3/22 14:23)

「好きとは言っても、19題は多すぎる。苦勞の20日間、解けた順に解答を書いておく。いろいろなルールで頭が混乱、時間が過ぎると答を忘れる。それにしても、皆さん、いろいろ考えますね。私は暇で無為徒食、解図の時間はたっぷりですが、作者の皆さんはたぶん忙しい。1題の創作時間は、どのくらいかなと、ふと思う。」

☆4月からはPWC分離で少しは楽になるかも・・・

吉川慎耶 (3/23 14:14)

「なし」

冬眠蛙 (3/23 23:52)

「ここまででした…。週末は実家に帰るので早々にギブアップです。また今度頑張ります。」

☆お久しぶりでした。解答ありがとうございました。4月もよろしくお願ひします。広島-新潟戦はどうなったかな？

もず (3/25 23:17)

「今回は北村さんの作品が目立っていましたが、全体に成熟している感じですね。」

☆これからどうなっていくのか？楽しみでもあります。

癩癩老人 (3/25 23:20)

「初めて解答させていただきます。月初めに見つけて長編までは解いておいたんですがほったらかしたので二度解きになってしまったのも多いです。締め切りは月末かと思ってたら今日ということで短評は全部書ききれませんでした。以後よろしくお願ひいたしま

す。」

☆初解答ありがとうございました。4月もよろしくお願ひします。

小五郎 (3/26 20:14)

「遅くなりました。実力を顧みず取り掛かったのが遅く後半は息切れしてしまいました。解けた数が少ないので申し訳ないですが今回もABC評価とお気入りは割愛させて頂いて感想のみ送ります。」

☆解けたものだけでもの人が増えてきました。有難いことです

橘 圭吾 (3/27 11:42)

「とりあえずかなり遅れましたが解答を出しておきます。少ないですがすいません。短評は時間がないので再び省略にさせていただきます。次回からはなるべく書きたいと思いますので今回は許してください。」

☆次回はお願ひします

伊達 悠 (2/19 14:14)

「ようやく(短編に関しては)FMを使わずに解くことができました！次からも頑張ります。」

☆昔はFM無かったからねえ～～鍛えられました